

■開設年度		■開講部局	
2015		共通教育	
■科目名			
稲盛和夫の経営哲学			
■英語科目名			
Management philosophy of Kazuo Inamori			
■前後期	■開講区分	■科目形態	■単位数
後期	毎週	講義	2
■（25年度以降入学生）中分類		■（25年度以降入学生）小分類	
b. 知力：人文・社会科学		11. 経済・経営を学ぶ	
■（24年度以前入学生）大区分		■（24年度以前入学生）中区分	
教養科目		人間教育科目	
■受講学部学科			
全学部全学科			
■担当教員		■担当教員所属	
吉田健一		稲盛アカデミー	
■連絡先（TEL）		■連絡先（MAIL）	
099-285-3753		k5621643@kadai.jp	
■オフィスアワー（授業時間外の対応）			
随時可（但し、事前にメールか電話で連絡をください）			
■共同担当教員			
■メインキーワード		■サブキーワード	
社会問題への理解と実践			
■授業概要（目的・内容・方法）			
経営のベースとなる経営哲学について、現代日本の代表的経営者であり、本学の卒業生である稲盛和夫氏の思想をもとに学習する。経営哲学の意義と、そのあるべき内容を理解することは、経営の基本を学ぶことであるとともに、あらゆる組織運営に通じる普遍的な実学となると考えられ、本講義では稲盛氏の経営哲学を学ぶことを通じて、組織運営になぜ、哲学が必要かを考えて行く。			
■学習目標			
1.なぜ、経営哲学が必要なのかを理解する。 2.経営哲学とは、どのようなものでなければならないのかを理解する。 3.経営者は、いかにあるべきかを理解する。 4.経営哲学を、組織内で共有するためにどうすればいいのかを理解する。 5.経営哲学がいかなる可能性を開くかを理解する。			
■授業計画・試験の有無（16回に分け、回数、授業内容、自学自習等）			
1.はじめに一経営哲学の存在を知る（各社の社是、理念を探索する）－ 2.なぜ、経営哲学が必要か 1（経営哲学が果たす役割） 3.なぜ、経営哲学が必要か 2（業績との関連性） 4.経営哲学はどのようにして生まれるのか（京セラフィロソフィの誕生） 5.経営哲学はどのようなものでなければならないのか（京セラフィロソフィの性格） 6.人生論（素晴らしい人生を送るために＝感謝の気持ちをもつ） 7.人生論（正しい判断をするために＝有意注意で判断する） 8.人生論（困難に打ち勝ち、新しいことを成し遂げるために＝潜在意識に透徹させる） 9.人生論（よりよく生きるために＝地味な努力を重ねる） 10.経営論（組織を活性化させるために＝全員参加で経営する） 11.経営論（業績を伸ばすために＝値決めは経営、売上最大、経費最小） 12.行動論（日々の仕事を向上させるために＝能力を未来進行形でとらえる） 13.心を高める、経営を伸ばす 14.京セラフィロソフィがもたらしたもの（KDDIの発展、JALの再生、盛和塾企業） 15.経営哲学とグローバル経営（中国他）			
■授業外学習（予習・復習）			
事前に次の時間に説明する部分（本と要約した冊子の両方）を一読してくること。			

■受講要件	■成績の評価基準
指定された教科書を必ず購入すること。経営哲学に関心をもっていることが望ましい。	毎回のフィードバックシートの提出（50%）、期末レポート（50%）。レポート提出の要件は3分の2以上の出席。
■教科書	■参考書
書名：『京セラフィロソフィ』 著者等：稲盛和夫 出版社：サンマーク出版 出版年：2014年 ?ISBN：10 - 4763133713	なし
■地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）	■地域志向科目の領域
■その他	
真面目に全ての回を受講する覚悟のある方。そうでない人は受講登録をしないでください。	